

万引きの無い社会の実現に向けて企業・地域・行政が連帯

万防時報



第32号
2023年3月

万防機構は万引き対策の新たな地平を切り拓く果敢な取り組みに挑戦しています。



2

巻頭ごあいさつ

3

渋谷プロジェクトの現況と今後の展開

4

インターネット委員会報告

5

緊急通報システムプロジェクト

6-7

特集／ロス・プリベンション

8-9

万防機構の活動状況

10

各地、各業界の万引き対策の取り組み状況

11

統計資料などに見る万引き犯罪の現況

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

11 住み続けられる
まちづくりを



私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を実践しています

特定非営利活動法人 **全国万引犯罪防止機構**



全国万引犯罪防止機構 副理事長

樋口 建史

ごあいさつ

早いもので令和5年も3月に入りました。改めて今年1年に思いを致し、一言ご挨拶を申し上げます。

世界が未曾有のコロナ禍が覆われて3年が経ちますが、多くの皆さまには、その厳しい状況の中でも変わることなく、当機構の諸活動に対し多大なご支援ご協力を賜っております。衷心より御礼申し上げます。

さて、当機構は、2005年の設立以来18年の長きに亘り、安全で安心な社会を実現する上で根幹に位置する最大の課題・万引き対策に取り組む唯一のNPO法人として、規範意識向上のための啓蒙活動から被害店舗における実践的な防止策のサポートに至るまで、幅広い活動を全力で展開してまいりました。

ただ、残念ながら、過去20年、犯罪全般が大幅に減少する中で、万引きは、官民を挙げた諸対策にもかかわらず、微減にとどまっており、その結果、犯罪全体に占める万引きの割合は年々高まっています。万引き対策の一段のバージョンアップが必要とされる所以です。

万引きは社会の実相を映し出す犯罪ですから、出来心の犯罪から常習者や犯罪グループによる大規模な組織犯罪まで多岐にわたっていますし、処分方法も、近年、ネットオークションやフリマサイトの比重が大きくなっていきますから、対策のバージョンアップに当たっては、その辺りの情勢の変化を踏まえて、従来の手法を進化させていくとともに、新たな手法を編み出していかなければなりません。

そういった問題意識の下に、当機構では、設立当初からの万引きに関する情報提供や啓蒙啓発活動に加えて、新たに、現場における万引きを抑止するための実務的な仕組みを構築し、多くの関係機関や関係企業と連携しながら、その運営を始めているところです。

具体例を申し上げますと、1つは、渋谷地区の3書店間における「渋谷書店万引対策共同プロジェクト」です。開始から3年半が経過しましたが、万引き犯人の顔認証情報の共同利用という先駆的な取組みにより、参加店舗の大幅なロス率の減少、万引き抑止の成果を上げています。今後、他地域への運用拡大を見据えているところです。もう1例申し上げますと、異業種間で万引きの被害情報・犯人情報を共有する「緊急通報システムプロジェクト」です。こちらは開始後3年余になりますが、主に東南アジア系外国人による大量万引き被害発生時に、万引き対策上有用な情報を迅速に共有することで、被害拡大防止に効果を発揮しています。さらに、この緊急通報システムプロジェクトの参加事業者を中心にして、毎月、万引きの被害情報と犯人情報、被害防止対策等を共有する「集団窃盗対策会議」を開催しています。昨年2月からは、この会議に、関係各県警察本部の現役警察官にも参加していただいています。これまでは、東海・中部地区の万引き被害情報・犯人情報の共有が中心だったのですが、本年からはこれを関東地区にまで拡げ、「重要万引犯罪情報連絡・検討会議」と名称を新たに、より多くの小売事業者、警察関係者に参加していただく会議へと発展させていきたいと考えています。

また、これらのプロジェクトを推進する上で、防犯カメラによる犯人画像を取り扱う際の法的問題や社会的相当性のハードルをクリアすることが不可欠であることから、当機構では、一昨年、認定個人情報保護団体として、個人情報保護に十分配慮した運営を行っています。昨年11月には、新たに特定分野型認定個人情報保護団体に認定され、防犯に特化した認定個人情報保護団体として、各関係事業者が直面する個人情報保護と万引き防止に係る様々な問題を解決する体制を整えています。

そしてまた、新たな処分方法対策につきましては、当機構に、新たに「インターネット委員会」を設置し、EC市場の運営事業者メンバーに加わっていただき、EC市場を悪用する者に対してアカウントを停止したり、不審な出品者に対して啓発メールを発信し警告するなどの取組みを進めています。

それからまた、被害店舗の従業員の方々の対応力の強化策についても申し上げますと、一昨年「ロス対策士検定試験」を実施しています。現在までに534名が合格し、認定ロス対策士として、不明ロス率を減少させるべく、それぞれの職場で活躍しておられます。万引きを含むロス・プリベンションの課題に正面から取り組むロス対策の専門家として、大いに活躍が期待できます。

最後に、自治体との連携の例についても申し上げますと、足立区において、上記の「緊急通報システムプロジェクト」と同様のシステムを活用して、各事業者間で万引きの被害情報と犯人情報を共有することにより、自治体と区内の小売事業者が一丸となって万引きを抑止する取組みが進められています。

ところで、当機構の存在意義が、万引きという大きな社会問題の解決に貢献する公益性にあることは間違いありませんが、併せて、当機構ならではの存在意義は、万引きに苦しむ小売事業者等の方々へ寄り添い、直面しておられる問題の解決を直接支援することにもあります。今後、当機構がその使命をよりよく果たしていくためには、警察や行政や防犯関連事業者等との連携が重要であることは勿論ですが、加えて、被害者である小売事業者の皆さまとの幅広い連携が不可欠であると考えています。

当機構といたしましては、これまでも業界団体の皆さまには、会員として当機構に参画していただいておりますが、これからは個々の小売事業者の皆さまにも、是非、会員として参画していただきたいと思います。ご理解とご協力のほど、よろしく申し上げます。

結びに、皆さまのご多幸とご隆盛を心より祈念申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

活躍する534名の認定ロス対策士

万防機構理事／LP教育制度作成委員会 委員長 近江 元

ロス対策士は「小売業の不明ロス率をコントロールするのに十分な知識を備えた人」といえます。また、ロス対策士は小売業の経営者から店舗現場で働く社員まで、それぞれの役割の中で、その知識を活用して、ロスを未然に防ぐための活動をします。また、その活動を支援する、防犯システムやロス対策サービスを提供する企業の社員は、自社のサービスとノウハウで、小売業ロス削減と利益改善に寄与するものです。既に534名のロス対策士が誕生し、それぞれの職場で活躍しています。今回は、6名のロス対策士を紹介します。

石原 裕美さん

石原さんが今の職場で仕事をするようになったきっかけは、学生のころに書店でアルバイトをしたことです。その動機は純粋に本が好きだからだそうで、好きなジャンルはミステリーです。しかし最近では忙しくて本を読むのもさぼりがちだと石原さんはいいます。

とにかく忙しい石原さんは、なんとBooksえみたすピアゴ植田店、ポートウォークみなと店、アピタ鳴海店の三つの店舗の店長をしています。ですから3店舗で30人あまりのスタッフの管理をしなくてはなりません。他方、忙しい中でも石原さんは8歳のお子さんとの時間を大切にしています。

店長としての役割は、スタッフの教育、品揃え、催事コーナーの企画、スタッグの勤務時間や休日の調整や商品の店舗間の融通など、多種多様です。「なぜ書店で働いているのか、今振り返ってみると、本も好きですが、人も好きだということに気が付きました」と石原さんはいいます。

もちろん売れ筋の確保、催事テーマを考えたり、催事コーナー作りなどの売場づくりも楽しいですが、最も心掛けていることは、皆が仲がよく風通しのいい職場で気持ちよく働けるようにコミュニケーションを大切にすることが大切だと考えている石原さんですが、ロス対策士については以前から興味があり、ロス対策テキストも手に入れていたそうです。今回、会社から受験の話があり、受験に至りました。

「人と本を笑顔でつなぐ～私たちは、お客様に笑顔で接します～私たちは、従業員同士のコミュニケーションを大切にします」という会社の経営理念をまさに体現している笑顔の素敵な石原さんでした。

岡田 俊一さん

岡田さんは妻と子2人の4人家族ですが、妻が病気療養中のため、家事に子育て（2歳と9歳）にそして仕事に奮闘する毎日です。幸いにリモートで仕事ができるので何とか家庭と仕事を両立させることができています。こんな中で岡田さんは特に子供を育てることは刺激が多く、また学ぶことが多いといいます。また今までそれを行っていた妻の大変さを実体験として知ったそうです。

公私に多忙な岡田さんの趣味は旅行です。特に飛行機に乗ること、それに加えてマイレージを貯めることを楽しみにしているのだそうです。岡田さんは家族旅行で家族との思い出が作ることができればと考えており、今までの旅で最も印象に残るところは北海道の函館だそうです。（聞き手：函館と言えば夜景ですね。）

さて4年前まではスーパーマーケットで主に鮮魚部門で仕事をしていた岡田さんですが、店舗での棚卸はとても面倒な（いやな）仕事であり、そんな仕事を専門にしている会社があるのを知り驚きました。そして小売業の経験を生かせる仕事をしたいと考え、棚卸サービスを専門に提供している会社であるエイジスに入社することに決めました。

スーパーマーケットで担当していた部門では鮮魚だけではなく冷凍食品、うどん・そばなどの日配品も担当していたので売価還元原価法や商品化される前の原材料や仕掛品などの在庫の評価方法も熟知しており、ロス対策士の試験ではその経験や知識が役立ったそうです。

実際に棚卸を行うために店舗に行くと同じチェーンでも店ごとの商品管理のレベルに大きな差があることに気が付きました。理論在庫データと実在庫の差がひとつでも異なることが問題になる店があれば、まったく管理が行き

届いていない店もあるのが現実です。

この10月から営業部に配属された岡田さんは営業サポートのチームで仕事をしています。サポート業務は広範囲で、業務を支援するだけではなく、組織の改善、営業手法の開発や研修を行うことまでが含まれます。

「パソコンスキルは初心者レベルです。それに営業の経験もほとんどありません。しかし与えられた営業サポートの役割を果たせるように努めています。」と岡田さんはいいます。更に「営業の仕事は相手があつての仕事です。相手（顧客）の気持ちを思い計り、自分が伝えたいことが正しく伝えられるようにいつも心掛けています。特に営業担当としては小売業の経験を生かして、顧客である店舗に対して価値あるサービス、支援ができればと思っています。」と抱負を語ってくれました。

都倉 美帆さん

沖縄出身の都倉さんは、千葉県を卒業し、昨年エイジスに入社しました。エイジスに入社した動機は好奇心からだそうです。棚卸は全く知らなかったのですが、面白そうだと思い、また海外事業を展開していることも興味をそそられた理由の一つです。一年目はコンビニエンスストアの棚卸の部署で仕事をしてスーパーバイザー（棚卸チームの責任者）の資格も得ることができました。そしてグループマーケティング推進室の社員公募に手を挙げて、この10月から同室に配属になりました。

プログラムやマーケティングを一生懸命勉強中の都倉さんですが、グループマーケティング推進室では、ウェブマーケティング担当としてホームページのメンテナンスやフライヤーの作成に取り組んでいます。

都倉さんの家族は皆音楽が好きで、都倉さん自身も学生時代は吹奏楽をやっていたそうです。現在同居している姉とカラオケに行くこともあります。また音楽番組を長時間、たとえば4時間連続観ることも珍しいことではありません。また「リモートワークでもBGMを流しながら作業をすると仕事はかどります。」と都倉さんはいいます。「ドローンにも関心があります。社内でドローンを使った事業があるのを知りおどろき、とても興味をそそられました。」そんなお話を伺い、好奇心旺盛で積極的に仕事に取り組む都倉さんの姿が見えてきます。

ロス対策士の勉強をしていて学びは

多かったといえます。「特に万引き犯の捕捉など保安警備に関することは全く知らず、新しい知識が得られました。」と言います。

都倉さんは沖縄出身なので、将来地元に関係する仕事ができたら、また沖縄で仕事をするだけでなく沖縄の企業を支援するような仕事をできたらと考えているそうです

山内 淳太さん

エイジスで勤務している山内さんはコンビニエンスストア、大型店での棚卸業務にそれぞれ7年くらい携わり、現在は人事総務部に所属し、神戸のオフィスで周辺の複数の事業所の経理業務を中心に担当しています。エイジスに入社したきっかけはコンビニエンスストアでアルバイトをしていた時に棚卸のチームを見たことだそうです。面白そうな仕事だなと思っていたら求人があることを知って応募しました。

今の職場では、採用された新人も棚卸現場で働くうちにやめてしまう者もいるため、山内さんは継続して働いてもらえるような環境づくりにも取り組んでいます。「エイジスでの仕事は大変だけど、エイジスにいていいこともある」と感じてもらえればと考えています。

会社のキャリア支援制度を利用して、ITパスポート、MOSの資格を取り、そしてロス対策士の資格を取ろうと思ったそうです。

ロス対策士検定試験の受験のためにテキストを読んだら他の資格を取得するために勉強したことがとても役に立ち、まるで復習しているところもあったと山内さんは言います。特にITパスポートはITそのものの知識だけではなく、ビジネス用語や経営に関する知識もとわれるためにロス対策士検定試験にとっても役に立ち、共通の部分もあるために初めて試験を受けるような感じではなかったそうです。

そんな勉強熱心な山内さんの趣味も大変興味深いものです。ウィキペディア（ネット上の百科辞典）を見ることだそうです。ウィキペディアが優れているのは関連性のある言葉からリンクして更に詳しく知ることができることです。ですから次から次へと読んでいく（ウェブサーフィンなどともいいます）と時間を忘れるほどだといえます。例えば「飛行機事故とその原因」といったテーマだったりします。特に飛行機事故は当然詳細にその原因が調査されます。原因がなぜ生じたのか、

そのプロセスを知らないといけませんし、突き詰める姿勢が大切です。

その考え方は棚卸サービスにも役立ちます。棚卸でも事故は起きます。ウィキペディアを読んだことの中にはこのような教訓があり、山内さん自身の生活や仕事にも役立つのだそうです。顧客のロス・プリベンションを担当している方の話を聞き、話すことで棚卸の重要性を再認識し、学ぶことも多くあります。

「特に明確な目標はないけれども、学び続けること、その積み重ねが、仕事や生活を豊かにするし、今与えられた仕事を精一杯やることを大切にしたい。」と山内さんは話してくれました。

吉田 弘さん

吉田さんは東日本大震災（2011年3月）の直前に今の職場に転職して12年目になるそうです。それまでは製パン工場で働いており、やりがいも感じていたのだそうです。しかし残念ながら勤めていた会社は事業を続けられなくなってしまったことから、生活協同組合コープあきたに入社しました。

コープあきたでの吉田さんの仕事はデータ管理業務です。さまざまなデータ、例えば売上（供給高）でも店舗や商品の分類、単品といろいろな切り口があります。来店客数も含めて最近のデータを見ると、数量PI値（買物客1000人当たりの売上数量）はあまり変わらない一方で金額PI値（買物客1000人当たりの売上金額）は高くなっているのだそうです。やはり商品の価格がずいぶん高くなっていることがわかります。

さて家庭での吉田さんはお子さん4人のお父さんです。吉田さんは何より家族団欒を大切にしています。子供達はゲームを楽しんでいます。吉田さん自身はゲーム機は持っているもののほとんど使わずに、休日はテレビのミステリーものを見る事を楽しみにしています。

さて、ロス対策士を目指した吉田さんは、ロス対策士検定試験の合格を目指して受験対策セミナーの録画（受験対策セミナーに申し込むとYouTubeで見られる）を何十回も見て試験に備えました。データを扱うくらい数字に強いはずの吉田さんですが、試験で出題される計算問題も電卓を使う事なく暗算で解いたそうです。さすがです。

仕事の中で、部門、ライン別の仕入れ、販売、在庫などのデータを見ているうちに本当にこの数字は実態を表し

ているのだろうかとか疑問に思う事があります。そんな時は数値を事実として伝えることが大切であると吉田さんは考えています。そして数値改善のための提案ができるようにしたいと考えています。

米田 典正さん

米田さんは、現在TSUTAYAいまじん白揚瑠璃光町（るりこうちょう）店の店長です。以前も瑠璃光町店に勤務したことがあります。他の部署に異動になり、一昨年から再び、この店の店長として勤務しています。書店での経験は30年ほどで、レンタル商品の導入にも携わりました。

現在の店舗のスタッフは20人ほどで営業時間は朝10時から夜11時までとなっています。米田さんはだいたい閉店時間まで勤務することが多く、自宅に戻るのはいつも翌日になってしまうそうです。健康には気を付けて、休日はウォーキングや山登りなど体を動かすことを心掛けているそうです。

「レンタル（書籍、CD、DVDなど）は世の趨勢として市場が縮小しており、また書籍も最近は厳しい状況です。よりよい接客やサービスに加えて、ハード面でも今の時代に即した変化が求められています。例えば雑誌の売場を縮小し、その代わりに話題の書籍などの売場を拡大したり、中古CDの取り扱いを始めるなどしています。中古CDの導入により40～60代のお客様が買っていますが、それも長くは続かないと思います。」と米田さんはいいます。そして次の商材を探し、導入することが最大の課題だと米田さんは考えています。

更に店舗運営を効率化させるために、セルフレジも導入されているそうです。しかしセルフレジだからといってお客様との接点が全くなるわけではなく、操作がわからなくて困っていたり、とまどうお客様のサポートをするなどお客様との新たな接点もできるのではと米田さんは考えています。

現在の店舗は立地やスペースに制約があるために、什器を低くしたり通路幅を広くとることは難しいです。防犯カメラなど与えられた設備を効果的に活用することでロス対策にとりくまなくてはと考える米田さんですが、ロス対策テキストを学んで、初めて知る防犯システムやその特徴を知ることができたり、スーパーマーケットやドラッグストアなど他の業種についても初めて知ることが多く、店舗を預かる店長として役立てたいと考えています。

ロス対策・パラダイムシフト つながる心が生む新世界

～ 防犯民主主義実現に向けて～ EAS機器と防犯カメラとロス・プリベンション推進のための工業会
工業会 日本万引防止システム協会

正会員 (正会員数 38社)

アイアンドティテック(株)	CIA(株)
IDECファクトリーソリューションズ(株)	(株)GeoVision
AWL(株)	シグマ(株)
アクシスコミュニケーションズ(株)	セコム(株)
アースアイズ(株)	セフトHD(株)
(株)アジラ	高千穂交易(株)
アドセック(株)	タカヤ(株)
アルシスデータ(株)	チェックポイントジャパン(株)
(株)エイジス	(株)店舗プランニング
NECソリューションイノベータ(株)	日本NCR(株)
エム・ケー・パビック(株)	日本電気(株)
(株)オカムラ	ネクストウェア(株)
(株)キャトルプラン	パナソニック コネクト(株)
(株)杏林社	富士通フロンテック(株)
グローリー(株)	ビブリオテカ・ジャパン(株)
(株)ゴジョウ・ウェイズ	マイティキューブ(株)
(株)KSM	Matsuo Sangyo(株)
サクサ(株)	(株)三宅
(株)セキュリティデザイン	リアルネットワークス(株)

賛助会員

(株)アスラボ	三愛化成商事(株)
亜細亜印刷(株)	チェスコムアドバンス(株)
サニーヘルス(株)	(株)NICCOサポート
(株)JSS	(株)日本保安
(株)自己啓発協会	丸紅(株)
(株)セキュアリンク	(株)ロケット

特別会員

- 公益社団法人 日本防犯設備協会
- 一般社団法人 日本自動認識システム協会
- 一般社団法人 全国警備業協会
- NPO法人 全国万引犯罪防止機構
- 関西万引対策連合会
- 一般社団法人 リテールAI研究会
- タグ&バック事務局
- 一般社団法人 ロスプリベンション協会

お蔭さまで全会員数が58組織になりました。(2023年2月3日現在)

JEAS委員会組織

カメラ画像安全利用推進委員会 委員長・副会長 三宅 正光



推奨顔認証システム
ステッカー

小売業や物流現場のカメラ画像の効果的な利用状況やセキュリティ対策を調べ、システム提供者側の販売指針を発表することで、カメラ画像の適切な利用促進に向けての環境整備を行う。平成28年度に「防犯カメラや画像認識システムの安全利用のお勧め」を制作。令和2年に推奨顔認証システム制度をスタートさせた。

技術基準委員会 委員長・事務局長 田丸 典億



EASステッカー

平成20年10月、EASと医療機器との干渉試験を実施することになり、その方法等の内容を検討し実施するために、技術基準委員会が設置された。

- ① 対ベースメーカー等との干渉実験
- ② 電磁界測定 ③ 電気用品安全法対応
- ④ 各種の基準作り

政策・研究委員会 委員長・理事 摺田 祐司



調査研究事業として、わが国における万引防止システムの普及推進のための必要な調査研究及び会員の基礎教育を行う。

JEASとして、取り上げるべき問題・課題の検討を行い、その結果を委員会の責任において、行政機関・関連団体・報道機関等に対し建議および提言・アピールを行う。

総務委員会 委員長・副会長 近江 元



工業会全般のスタッフ業務と工業会を司る。事務局と密接な関係を保ちながら主として次の業務を行う。会計、広報、渉外、規約の起案と見直し、他の委員会に所属しない業務を専門的に行う。国内情報・海外情報を広く収集し、必要に応じてそれらを取りまとめ、国の内外へ広報する。「15分間勉強会」や「業界で活躍する女性」が好評につきシリーズ化した。

理事会・運営委員会 会長・個人情報管理室長 稲本 義範 (総合防犯設備士、公認不正検査士、万引き防止責任者養成講座担当講師)

速報!

セミナー情報

詳しくはJEASの
Homepage & Facebookにて

6/2
(金)

JEAS通常総会・記念講演

「ICT教育を小売業全体で実践!そして宇宙への道」は、宇宙エレベーターロボット競技会実行委員長 小林道夫先生(神奈川大学附属中・高等学校副校長)、(株)トライアルホールディングス IT部門のご担当者に登壇いただきます。

JEASフェイスブック
ロス対策メルマガ
好評配信中!

連絡先

工業会 日本万引防止システム協会 事務局 TEL: 03-3355-2322 FAX: 03-3355-2344
〒160-0004 東京都新宿区四谷1-6-1 7F https://www.jeas.gr.jp E-mail: infonew@jeas.gr.jp



Home page Facebook



発行

特定非営利活動法人 全国万引犯罪防止機構

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-2 書店会館4階 TEL. 03-5244-5612 FAX. 03-5244-5613

E-mail: info8@manboukikou.jp https://www.manboukikou.jp

2023年3月1日発行 禁無断転載